



令和6年2月 28日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

総務常任委員会
委員長 山内 政 徳



委員会審査報告書

本委員会に付託された事件について、審査の結果、別紙のとおり決定したので、会議規則第94条の第1項の規定により報告します。

記

事件の番号	付託年月日	件 名	審査の結果
令和5年 請願第4号	令和5年9月12日	読谷村地下水保全条例制定についての 請願	不採択

1. 調査事件 令和5年 請願第4号 読谷村地下水保全条例制定について請願

2. 総務常任委員会

委員長 山内 政徳 副委員長 江田 守恭

委員 上地 利枝子、國吉 雅和、長濱 宗則、大城 友誼

3. 審査の経過

- (1) 令和5年10月 5日 自由討議
- (2) 令和5年11月 8日 生活環境課職員とヒアリング
- (3) 令和5年12月14日 総務課職員とヒアリング
- (4) 令和6年 1月18日 村内現地調査

【調査箇所】

- ①長浜ダム
 - ②比謝川行政事務組合 環境美化センター一般廃棄分最終処分場
 - ③シムクガマ
 - ④読谷中部地区(A地区)
 - ⑤産業廃棄物処分場跡地
 - ⑥村が水質調査している7カ所
 - ⑦伊良皆の上ヌカ^イ- (別名 サシジャー)
- (5) 令和6年 1月22日 村内地下水の水質検査結果について
生活環境課職員とヒアリング
 - (6) 令和6年 1月30日 現地調査の要点抽出
 - (7) 令和6年 2月 6日 報告書まとめ
 - (8) 令和6年 2月 8日 報告書まとめ
 - (9) 令和6年 2月21日 請願者より意見聴取

4. 審査の概要

令和5年9月12日、総務常任委員会に付託された請願第4号について審査の経過と結果を報告する。

本委員会は生活環境課、総務課、農地活用推進課等の担当職員より聞き取り調査や村内地下水等の現地調査等を行った。

読谷村の地下水保全問題は、国の法律や沖縄県の生活環境保全条例等で対応できると判断する。現場調査7カ所のうち1カ所でホウ素が基準値を超える場所は注意深く見守る必要がある。また、公共下水道未整備地域からの生活排水等の影響による環境問題は、合併浄化槽を推進することにより改善が図られている。主管課も国の法律や沖縄県の条例等のもとに地下水保全が図られているとのことである。

2月8日、請願第4号の採決を行い全会一致で不採択と決しました。その後、議長からの申出により2月21日請願者より意見聴取を行い、同日再度不採択を確認しました。